

こんにちは

名張市議会議員
日本共産党 三原じゅん子です

NO.15 2026年 1月・2月

三原じゅん子

すずらん台西4-202

0595-68-3552

三原じゅん子 名張(HP)

E-mail : junko.mihara@asint.jp

生活相談は
いつでもどうぞ



平和・命・暮らしを守り、希望の持てる未来を切り開く決意です

2026年度政府予算案が閣議決定されました。その中身は、長射程ミサイルの整備、全国に弾薬庫の新設、攻撃型ドローンを大量取得するなど軍事費は9兆353億円の過去最大額になっています。一方、医療・介護などの社会保障に係る予算は圧縮され、高額療養費の負担増やOTC類似薬の保健給付外しを進めようとしています。文教予算では、小学校の給食費無償化が国民の声で実現しましたが、教員不足が深刻になっているにもかかわらず教員定数を2548人も削減します。

「税制改正大綱」では、軍拡財源として防衛特別所得税(仮称)

を創設するとしています。先の国政選挙で大多数の国民の願いだった消費税の減税はありません。年金や給料は物価高騰に追い付かず、暮らしは厳しくなり、若い世代は希望が持てず、結婚、子育てを諦める事態で、2025年の出生数は66.5万人(前年比3%減)と減少し続けています。

この流れを変えていくために、**安心して暮らしたいと願う市民の声を力に、議会内外で行動し提案していきます。主権在民、この国の主権者は私たち一人ひとりです。共に希望の持てる未来をつくっていきましょう。**



市民・国民の声で 政治を動かす

2026年4月から、国の制度で
小学校給食費(5200円)の
無償化が始まります

学校給食の無償化は、子育て支援として全国の自治体で先行して行われていました。地方自治体と保護者をはじめ様々な市民団体が国の制度としての無償化を求めて、ついに実現しました。

名張市の小学校給食費との差額は物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金で補填し、2026年12月まで保護者負担を軽減します。



保育児童も、主食・副食費ともに4月から12月まで無償化になります。

中学生は学校給食が実施されていません。中学校給食の早期実現については2027年実施の計画の実行を求めていました。そして、給食が出来るまでの中学生への昼食支援も求めてきました。今回の臨時交付金で、**中学生一人あたり2万円のデジタル商品券を配布することになりました。(デジタル対応が困難な場合は紙媒体で対応)**

高校生、大学生にも生活支援として1万円のデジタル商品券が配布されます。

物価高騰対策
事業者支援

- 中小企業・小規模事業者の賃上げ環境の整備のため、エネルギー価格高騰対応生産性向上・業態転換支援補助金(10万円~50万円×150事業者)
- 介護サービス事業者支援(食材費・光熱費・燃料費の一部補助)
介護事業所の訪問アンケートを実施し、訪問介護の診療報酬が引き下げられ介護事業所の経営が厳しくなっている声を基に支援を求めていたことが届きました。
- 障害者福祉サービス事業書支援(食材費・光熱費・燃料の一部補助)

しんぶん赤旗 日曜版 電子版START

スマホから、豊富なコンテンツが月990円で読める！

「しんぶん赤旗」お試しキャンペーン

3週間無料でお届けしています

日刊紙

日曜版

日刊電子版

お申込みは右のQRコードか
三原じゅん子にお電話ください

0595-68-3552

※留守の場合はメッセージを留守番電話に残してください



政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぶ

しんぶん赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 990円



市内に分娩施設の確保を! 市立病院に院内助産院の開設を提案しました

一般質問 12月10日 再生ポイント3:19:40

2025年1月から11月までの名張市の出生数は292人
森川病院（伊賀市）……………63%
三重大・三重中央医療センター……………15.1%
その他三重県内……………5.11%
その他県外……………16.8%

妊娠婦の救急搬送は5件
森川病院2件
三重中央医療センター3件

名張市
回答

三重中央医療センターでも院内助産院が開設されている。助産院の開設には、まずは産科の開設が先であろう。出生数が減る中で、民間病院の維持・継続は困難になり、公的に補助が必要だろう。引き続き三重県とも協議していく。

三原の主張 伊賀市名張市では分娩施設が一つしかなく、奈良県や三重大学まで行かなければならぬ場合もあり、遠方であるため妊婦と赤ちゃんにリスクがかかり家族の負担も重くなります。市内での分娩施設の確保が必要です。市立病院内に院内助産院の開設を提案しました。



院内助産院は、病院内の空き病棟や病室を利用し運営する例もあります。また、産科医師が非常勤で関与する嘱託契約型も認められています。助産師が助産外来や妊婦教室などを行い、段階的に分娩対応へと移行するものです。

妊娠婦の多様なニーズに応えるとともに、産科医師の負担軽減を目的とする体制整備になります。

名張市で妊娠をしたら、どの病院で出産しようかと困っているとの相談の声があります。また、市外に暮らす娘さんが里帰り出産を希望しても困難な事態です。新しい命を迎えるまち、安心して産み育てられるまち名張であるために市内の分娩施設の確保を引き続き提案していきます。

中学校給食の早期実現を!! 2027年実施予定の延長は認められません

一般質問 12月10日 再生ポイント3:45:10

2026年度から小学校給食の無償化が実施され、中学校給食も無償化の声が広がる中で、名張市は未だに中学校給食が実施されない事態です。

●吳市、中学校給食早期実現事例

最短の時間と最小の費用で全校実施を目指し親子方式（小学校の給食調理室で作って中学校に配送）を導入し、初期投資5億5千万円、3年間で実現しています。

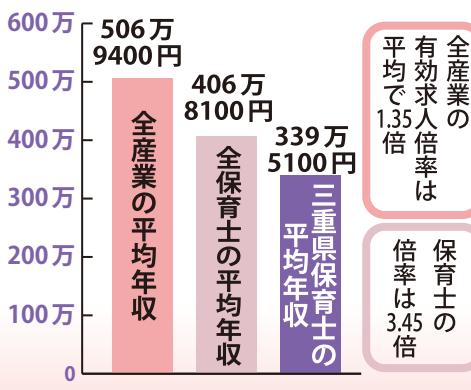
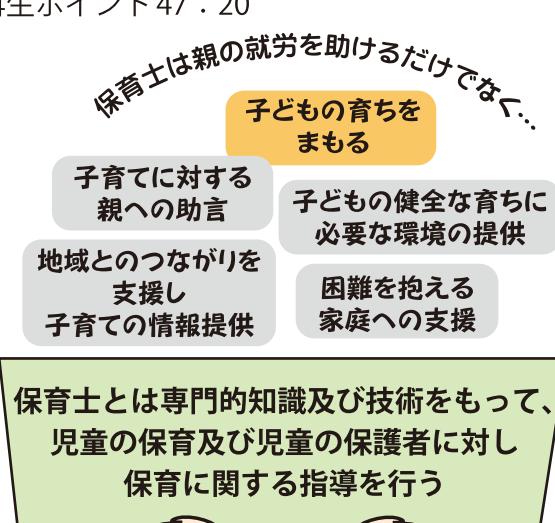
名張市はセンター給食に20億円かかり、財源確保が困難として未だに出来ていません。実施例を参考にして、進めていくことを提案しています。

地域限定保育士の一般制度化よりも処遇改善が急務です

12月定例議会採決 12月23日 再生ポイント47:20

地域限定保育士の一般制度化は、実施試験の免除や県単位での試験の開催など、これまでの国家資格である保育士の資格取得のハードルを下げて保育士を増やそうとするものです。それで保育士が増えるでしょうか。

市内で保育士求人説明会を開催しても参加者が集まらないという実態があります。保育士不足の原因是、給料は低く、責務が重いことがあります。資格を持ってい



令和6年賃金構造基本統計調査



ても保育士に就かない潜在保育士が増加しています。

職務内容に見合う賃金や処遇改善を進め、保育士の社会的認知を高めることこそが必要です。

保育園は子どもが家庭から出て、社会福祉を受ける最初の場所です。そこで尊い命と一人ひとりの尊厳を守り、心豊かで健全な育ちを保障していくために、保育士の処遇を改善することを求めていきます。

三重県のジェンダーギャップ指数、男女の賃金格差はワースト2位です。
保育士の多くが女性です。
女性が安心して働き続けられるように
声をあげていきます。



【補正予算 12月15日再生ポイント1:18~】でも会計年度職員（非正規職員で多くは女性）の処遇改善についても質疑しました。